

議員発議

外国人観光客の増加に伴う安全対策強化と交通ルール整備を、飛騨3市1村議会がともに国へ要望

◆ 意見書概要

当市は古くから国際観光都市として世界の訪問者を受け入れてきました。コロナ禍を経た現在、外国人観光客の来訪は大幅に増加し、従来の観光地のみならず市内全域で外国人の姿が見られるようになっていきます。

これは地域経済の活性化につながる一方で、新たな課題も生じています。特に冬季には、雪を見ることを目的とした外国人観光客がレンタカーを利用し、冬装備不足のまま雪道を運転するケースが増加しています。その結果、ノーマルタイヤによる車両のスタック、基幹道路の長時間通行止め、路上への車両放置などが発生し、救急活動や市民生活に支障をきたしています。また、季節を問わず、日本の交通ルール理解不足に起因する右車線通行や無断駐車といったトラブルも頻発しています。



2024年12月28日の国道156号白川村内の渋滞
※東海北陸道白川郷ICー福光IC間7時間通行止め



2025年1月6日のスタック車

この問題は飛騨地域全域にわたる課題であることから、飛騨3市1村議会において共有するとともに歩調を合わせ、国に対しレンタカー事業者への冬用タイヤ装着の義務化や関連責任の明確化、わかりやすい道路標識の整備など、より実効性のある対策を講じるよう、各市村議会において意見書を提出しました。

飛騨・世界生活文化センターの今後の方針に関する意見書を県へ提出

◆ 意見書概要

岐阜県が示した飛騨・世界生活文化センターの利用制限および閉鎖方針を受け、議会は県に対し、丁寧な対応を求める意見書を提出しました。

同センターは、文化・芸術活動や地域交流、産業振興などを支えてきた公共性の高い施設であり、長年にわたり多くの利用者に親しまれてきました。一方で、県の対応は唐突との受け止め方が市民の間で広がっており、定期利用団体などからは活動継続や代替会場の確保に不安の声が寄せられています。

意見書では、県文化芸術振興基本条例の趣旨を踏まえ、県民である利用者・関係者の意見を十分に把握するとともに、今後の方針を検討するにあたっては、利用実態や地域への影響に十分配慮し、対話と説明を重ねるなど、丁寧な対応を要望しました。

市議会ホームページ
令和7年 第6回定例会から
議案(議員提出案件) 意見書本文へ

